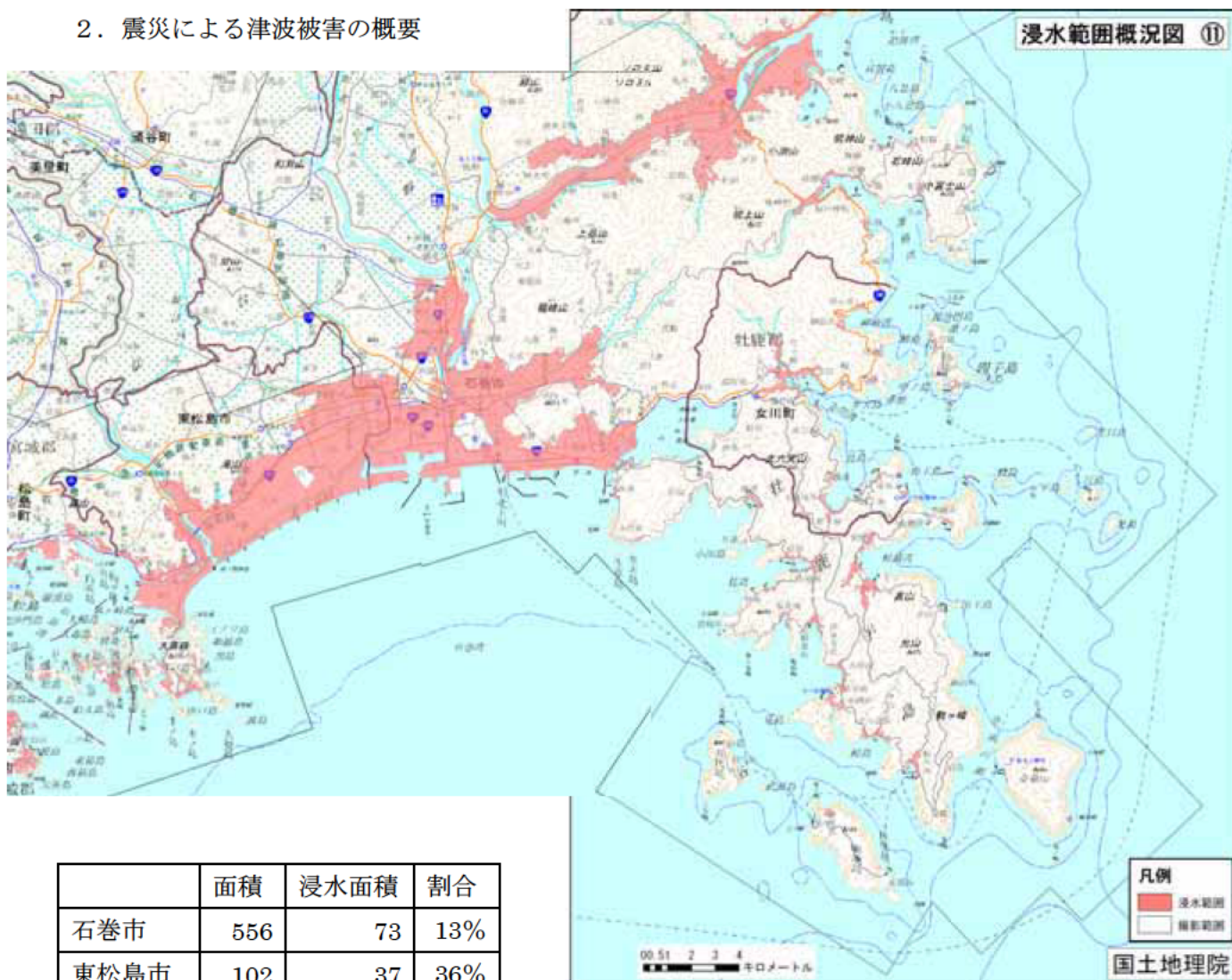


1. 管内の概要

当事務所の所管区域は、平成17年4月1日の市町村合併により、石巻市（旧：石巻市、河北・雄勝・河南・桃生・北上・牡鹿町）、東松島市（旧：矢本・鳴瀬町）、牡鹿郡女川町の2市1町で構成され、面積は約723 km²、人口が約217千人で、それぞれ県全体の約1割を占めています。

産業については、稲作に適した沖積平野や金華山・三陸沖の豊かな漁場を有しており、古くから農業・漁業ともに発達してきました。工業の分野では木材関連業などが基幹産業として成長している一方、観光面では観光客の入り込み数および宿泊客数ともに減少傾向にあり、通過型となっています。

2. 震災による津波被害の概要



このあたりは、今も海に沈んだままです



大川小学校

北上川周辺の浸水と新北上大橋の落橋（河口から約 4km 地点）



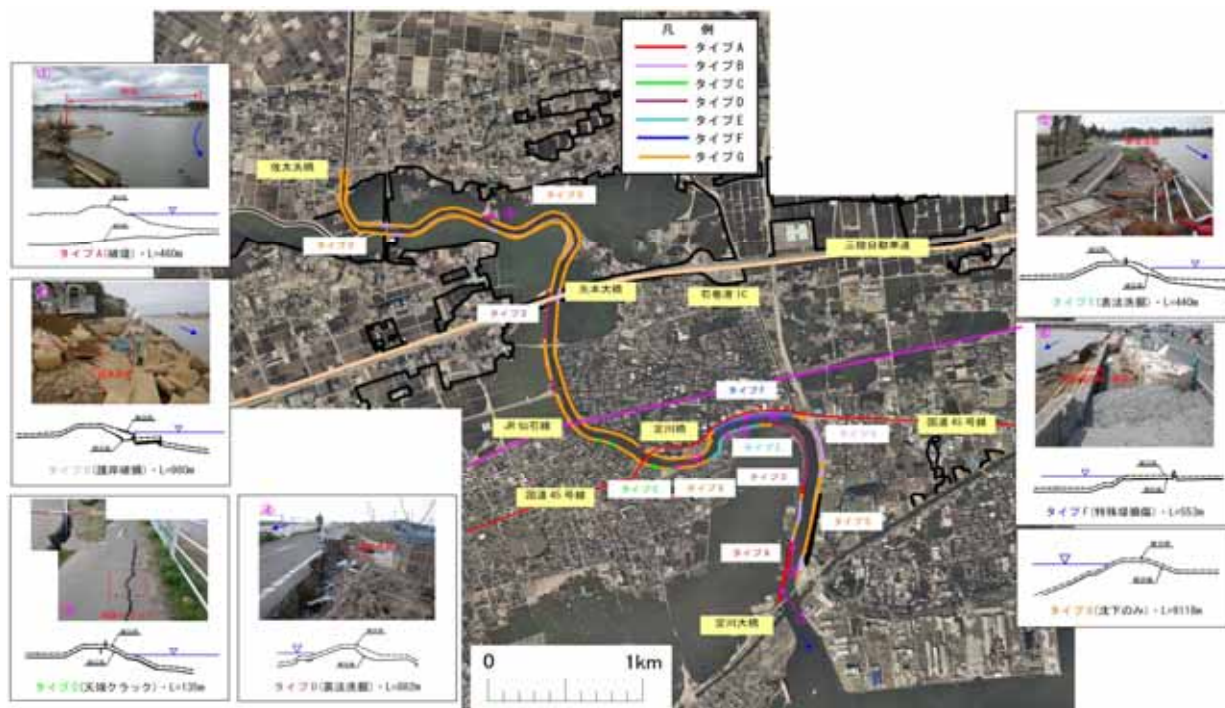
倒壊した建物で覆われた国道 398 号（女川町内）

津波により浸水した東部土木事務所



3 定川災害復旧事業

被災状況平面図



宮城県で、初めて着手することとなる定川の災害復旧工事です。工事着工式が10月17日に東松島市大曲地内で開催されました。事業費は約150億円、河口部から佐太夫橋までの延長6,284mを本復旧する計画です。年度内に8件の本復旧工事を発注予定。

復旧の基本方針としては、河口部から国道45号まではL1津波に対応できる「粘り強い構造」の堤防とし、国道45号から上流部については、地盤沈下した箇所を被災前まで復旧するとしている。まず、大曲地区の破堤箇所の復旧に着手し、その後、用地が確保された区間から順次築堤工事を行っていく予定です。大曲地区内には、改装して住んでいただいている方々が多数おられますので、今後用地交渉が大変だと思われます。

4. 現在の状況

石巻市北上町十三浜 白浜地区



赤枠の中に住家があったが、津波で流されています。
こういった地区では規制がかかり住宅は建てるできません。

石巻市北上町十三浜（大沢川）

北上川の堤防



石巻市北上町十三浜（皿貝川）



石巻市大谷川浜地区



- ・ 復旧工事の状況としては、震災後に応急工事を施工し現在にいたっている。
- ・ 災害査定が終わり、詳細設計の段階である。

石巻市街地について

- ・ 当事務所や宿舎のある市街地については、津波により1 m以上浸水（3日間退かなかったとのこと）したが、現在は住居・店舗とも震災前の状況に復旧している。ただし、道路、特に歩道は震災によりでこぼこで非常に通りにくい状況である。
- ・ 海岸沿いは、津波により多くの建物が全壊し既に瓦礫は撤去されているが、倒壊を免れた住居はそのままの状態に放置されているものがほとんどである。工場や量販店などは修繕し稼働している所が多くなっている。

郊外の沿岸部集落について

- ・ 車窓から眺めただけでは住宅地があったのか分からない状況（現地を歩くと基礎があり住宅地であったことが分かる）
- ・ 建築制限がかかっており、住宅を建てることができない。（修繕して住むことは可能）
- ・ 集団移転に向けて調整中の地区がほとんどである。

5．当事務所用地班の体制 【18人】

用地専門監 班長 副班長 宮城県職員4名（うち1名は休職中）
 派遣職員5名（三重県2、佐賀県、熊本県、高知県）
 登記嘱託員2名

10月から、新たに4名（新潟県、佐賀県、奈良県、福井県）が用地班に派遣されました。

6 業務内容

災害関連土木工事に伴う用地買収、登記及び補償に関すること

派遣職員は、災害関連以外の通常業務を行うことは不可となっています。

4月から9月までは、

道路1班～4班、河川1班～4班について、2名体制で2班をそれぞれ担当する。

長島は、河川1班と2班の担当となっています。

10月から3月までは、派遣職員が増員になり特に河川事業が、動きだしましたので河川1班～4班について、各班2名体制で変更になりました。

長島は、河川2班の担当となっています。

7 担当業務実施状況

河川・海岸改修予定地の事前調査

- ・ 赴任当初は災害査定が終わり詳細設計に入る段階であり、用地買収地が確定していない状況。
- ・ 工事完了時期が繰越も含めて H28 年度までと限られており、用地買収地及び面積の成果品が出来上がるのを待っていると遅くなるため、事前に想定される土地について地番や所有者の調査を行い、短期間で成果品ができるように行う。
- ・ 事前調査のメリットとして、数十名の共有地など取得が難しい土地を事前に洗い出しすることにより工事实施区間から除くことが検討できる。 用地測量業者の業務が短縮できる。
- ・ 事前調査件数（長島調査分）

施工箇所	所在地	登記申請件数		住民票	戸籍
		公図	証明書		
定川	東松島市大曲ほか	149	318	89	24
北北上運河	石巻市門脇外	31	47		
南北上運河	東松島市大曲	86	247	150	9
北上運河	女川町浦宿浜	79	120	53	10
鱒ヶ淵海岸	東松島市宮戸	47	52	5	2
東名運河	東松島市野蒜	48	130		
	〃				
6箇所		440	914	297	45

- ・ 事前調査の流れ
住宅地図や行政班（管理班）の公有財産の図面をもとに、所在地（字、地番）の目処を付け、法務局に公図の交付申請を行い連続図を作成する。
連続図に基づき河川や道路境界から約 30m幅程度の土地について、法務局に登記事項証明書の申請を行い、一覧表を作成する。
 - ・ 地元説明会の目処がつけば、生死や所在の確認作業を実施する。
住基ネットが今年の 6 月中旬に用地班に入ったことから、土地登記記載の住所・氏名に基づき、生死・住所地を確認する。ただし、土地登記簿の住所は必ずしも現在の住所地でない場合が多いので、該当なしの場合が多い。
次に市役所に住民票の申請を行う。
市役所でも把握できない場合は、支所の職員や区長に聞き取り調査を行う。
- 4 月から 7 月の業務としては、事前調査がメインであり時間外や休日出勤は殆んどありませんが、7 月位から地元説明会や土地境界立会（境界確認）など徐々に増えてきており、また、8 月から石巻バイパスの用地交渉がスタートし夜間に交渉に行く機会が増えています。

用地業務量としては、H21年度：88件、182,933千円、H22年度：81件、135,797千円、H23年度：23件、97,459千円（いずれも実績）に対して、H24年度計画（別紙調書のとおり）は災害関係だけでも用地費が8,279,013千円と桁外れに多くなっています。

8 赴任してからの感想

復興状況について

- ・昨年7月に、岩手県山田町に、1週間ボランティア活動を行いました。1年後に今年8月に山田町に訪れましたが海岸沿いは1年前と殆ど変わりなく、本格的な復興は、これからと感じました。
- ・また、東部土木事務所管内については、事業の保留解除にむけ関係箇所との調整を行い事業着手に向け進めています。事業別に見ると、海岸・河川については、平成24年12月を目標に保留解除で、道路については、街造り計画など多くの方々の調整中のなか事業着手は、平成25年4月以降のようです。
- ・現地で防波堤などの復旧計画の打ち合わせを地元区長さん達と行ったときに、報道などでは幾ら予算がついたとかあるが、実際目に見えてこない（工事が始まらない）ことから住民も不安があると思うので、一日も早く工事を始めてほしい旨の話があることから、復旧が進んでいない。

業務環境について

- ・職員ポータルについて、パスワードは3ヶ月毎に更新必要となっている。
- ・ポータル自体にメールやスケジュール表（設定することで県下全員のスケジュールが見られる）が付いており、便利な機能である。
- ・公用車で現地に出かける毎に決裁が必要になっており、少し煩わしさを感じる。また、管内地権者、関係者との調整に行くことが多い中公用車の台数が少ない。現在用地班の台数は3台。（公用車は、昨年被災したため各県等よりいただいた公用車を使用。）

言葉の壁

- ・業務の関係上、地元の方、特に高齢者の方と折衝しますが、半分位は何を言っているのか理解できない状況です。
- ・また、相手方からも県外の方ですかとよくきかれます。

住環境や気候風土

- ・事務所から徒歩15分程度の場所にある、県職員寮に居住。
- ・6畳一間で、トイレ、風呂、洗面所等全て共有、冷暖房もなし、食事は事前予約制で月曜日の朝食から金曜日の朝食まではあるが、金曜日の夜から日曜日の

夜までは、風呂も併せてない。

- ・ 昭和 40 年代の建築なので、隣の物音が筒抜けなので、その点がストレスとなっています。
- ・ 住宅の周辺には、コンビニやスーパー、ホームセンター、ツタヤ、郵便局、銀行など無いものが無いほどそろっており、非常に便利な場所です。
- ・ 気候としては、4月に雪が降るなど寒いというのが第一印象でした。また、風が強い土地柄だと感じました。
- ・ また、今年は異常気象で暑い日が続きましたが、9月中頃から涼しくなってきました。冬の寒さに耐えられるのか心配です。